

# 常盤の松

富岡市立富岡中学校

TEL 0274-62-1741

Email tomi-jhs@tomioka.ed.jp

文責 校長 土屋 勇



## 税の作文で本校生徒が快挙！

例年行われている税に関する作文コンクールで、本校3年生の菊地祐衣さんが群馬県知事賞（県で最高賞）と国税庁長官賞（関東で7人受賞）という名誉ある賞を受賞しました。これはとても素晴らしい快挙で、誇らしいことです。先日群馬県行政事務所長様をはじめとする関係部署の方にわざわざ来校していただき、校長室で授賞式を行いました。また、今月30日（月）には、富岡税務署長様がお見えになり、全校朝礼の場で

直接「国税庁長官賞」を授与していただくことになっています。

中学校では、3年生の公民の授業で税金について詳しく学ぶことになっています。これに合わせて12月には税務署の方をお招きして3年生を対象に租税教室も行われます。税金については、とても日常的で我々と密接に関わっているものですが、子どもたちにとってはなかなか実感として捉え難い面もあります。

そんな中、3年生の夏休みの課題として書かれたこの作文には、正に今年の夏休み中に知った、若くして亡くなった東南アジアのある女性の衝撃的な運命に対する憤りや状況の改善に向けての社会全体へのメッセージが熱く語られています。今自分が置かれている環境は決して当たり前ではないこと、世界の目まぐるしい発展やグローバル化の中で埋もれている部分にももっと目を向けるべきであること、一個人として自分に何ができるか、ということ改めて考え、将来のあるべき社会の姿に言及しています。

彼女の作文は上毛新聞にも掲載され、校内にも拡大した文章を玄関等に掲示しています。多くの生徒が読み、自分としての考えをもち、これから自分はどうすべきかをしっかり考えられるとよいと思います。



## 主体的で対話的な授業でした！

### ～上田教諭の研究授業～

11月20日（金）6校時、市内小中学校から20名程度の教員が来校し、本校の上田教諭の授業を参観しました。感染症対策として会場を3階の多目的教室とし、換気には十分に配慮しながら行いました。2年生の生徒も多目的教室での授業に慣れるため、1週間程前からそこで行っていました。

これは、例年行っていた富岡市教育研究所の研究発表会に代わる取組で、今年度は市内の10名の研究員が授業を公開し、それを他の教員が参観することになっています。今年度は本校の上田教諭も研究員で、数学の授業を研究しています。新型コロナウイルスの影響で1学期は研究のための授業実践が十分にできませんでした。2学期以降、それまで蓄積していた考えを実践に移し、当日まで試行錯誤を繰り返しながら進めてきました。

実際の授業では、生徒たちがやるべき事を理解していて、3人の班での学習では一人の発言をきっかけに他の生徒が考えを巡らせ、生徒間のやり取りを通してそれぞれの考えが深まっていく様子が見て取れまし

た。これが正に生徒たちが主体的に取り組み、互いに対話しながら進めている授業の実践でした。この考え方は来年4月から全国の中学校で本格実施される新学習指導要領の考え方に他なりません。上田教諭はこのことをいち早く授業に取り入れ、実践を繰り返してきました。まだまだ実践の途中ですが、生徒にとってよりわかる授業、生徒がより主体的に動ける授業の展開を目指して、更に頑張してほしいと思います。



## 現状維持は衰退である！

先日の2年生の社会科の授業で、教師の問いに対してある生徒が発言しました。「現状維持は衰退である」この言葉はある著名人の言葉ですが、実はこれはとても奥深く、我々の日常生活のどの場面でも通用する言葉だと思います。

やがて12月になります。学校でもそろそろ来年度の諸計画を考える時期となりました。それを考える中で、より効果的なもの、生徒たちにとってより有意義なものを意識して計画して



いくこととなります。しかし、その際、「今年度はある程度の成果が出たから」とか、「特にマイナス面もなく実施できたから」などという理由だけで次年度も同様の内容で実施するのはどうなのか、結果的にかなりの課題が表出したときのみ改善していくことでよいのか、ということについて真剣に考えなければなりません。仮に何事もなかったからと言って次年度も同じように計画したとすると、重大なことを見落としていることに後で気づくことがあります。つまり、変わっていないのは計画を立てている人だけで、1年という時間の経過、社会や周囲、当事者（生徒たち）の変化について考えが至っていないこととなります。気づいたときには取り残されているということになりかねません。「現状維持は衰退である」という言葉は、次の計画を立てるときに意識しなければならぬ大切な言葉であると思います。



## 面接練習が始まりました！

高校入試対策の一つとして、校長との面接練習が始まりました。事前に準備しておくとは言え、実際にやってみるとなかなか思うようにできないものです。緊張のあまり準備していた言葉を忘れ、しどろもどろになってしまうこともあります。それでも、3年生たちは質問に対してしっかりと答えようと一生懸命になります。この姿勢もとても重要で、何とかして相手に伝えようとしているかがポイントです。

面接は第一印象も大切です。身なり、姿勢、礼のしかた、返事、視線、声の出し方等を意識しながら、矢継ぎ早に飛んでくる質問に答えなければなりません。生徒たちにとっては初めての経験であり、急にうまくはできません。自分ではできていると思っても、気づいていないことや勘違いをしていたり、端から見るとできていないことも多々あります。だから練習が必要になってきます。

校長は普段、生徒一人一人とあまり話をする機会がないので、練習する中で一人一人の生徒のことがわかったり、中にはその後ろにいるご家族の様子も垣間見えることもあり、毎年楽しみにしていることの一つです。繰り返し練習することことで見違えるほど上手になってくる生徒もいます。しっかりと準備をしながら本番に向けて頑張してほしいと思います。